

みんなでも ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

「ふたば復興生コン」が完成しました

「ふたば復興生コン」が10月、高瀬地区に完成しました。

浪江町内では初めての生コンクリート工場です。地域の復旧・復興工事に不可欠なコンクリート工場ができたことで、今後さらに町内の復旧・復興が加速していくことが期待されます。



問 産業・賠償対策課商工労働係
Tel 0243(62)1106

原発事故による損害賠償でお困りの方へ ADRセンターが無料で和解仲介します

東京電力の提示金額に納得できない方など、どなたでも当センターをご利用頂けます。現在の申立て以外の損害についても、申立て可能です。また、裁判よりも手続が簡便かつ無料^{※1}で、ご本人様お一人でも申立てができます。証拠書類がない場合でも申立て可能であり、仲介手続きの中で、センターの調査官が不明な点を丁寧にお伺いします。

手続きが終了している15,287件のうち、8割強である12,722件^{※2}が和解成立に至っています。

※1 送料等の実費は発生します。 ※2 平成27年10月末現在の件数です。

最近の和解事例

浪江町（避難指示解除準備区域）の不動産（自宅土地建物）について、自宅の位置、付近の放射線量、周辺施設の状況、申立人らの生活状況、水道の復旧状況等を考慮して全損と評価し、平成10年の購入時価格（造成費用として申立人らが支払った額を含む。）を土地の事故前価値として、財物損害が賠償された事例（和解事例868）。

※和解事例は、あくまで申立人の個別事情に基づいて和解した例であり、一般的に適用される基準ではありません。

お問い合わせ先 原子力損害賠償紛争解決センター 無料電話 0120(377)155

◇平成27年浪江産玄米の放射性物質検査結果 (30kg/袋)

検出値 (Bq/kg)	測定下限値 (25)未未満	25~50	51~75	76~100	100超過	計
袋数	198	※1	※1	0	0	200

※食品衛生法の定める基準値 (100Bq/kg) 未未満ですが、検出された原因を調査中です。これらの玄米は市場に流通しません (販売用の米は、全て25Bq/kg未未満のもの)。
全量全袋検査の詳細については、「ふくしまの恵み安全対策協議会」のホームページをご覧ください。

◇平成27年浪江産米の取扱い店舗

東京大学生活消費協同組合購買部	<ul style="list-style-type: none"> 11月30日(月)より、各購買部での販売を予定。 代表店舗：本郷第2購買部 (東京都文京区本郷7-3-1) ☎03(3816)3971 営業時間8時~21時 ※その他の購買部でも販売を予定しています。詳細は下記のホームページをご参照ください。 東大生協ホームページ http://www.utcoop.or.jp/
東京大学生活消費協同組合食堂部	<ul style="list-style-type: none"> 11月30日(月)~12月4日(金)、12月7日(月)~12月11日(金)に、浪江産米を使用したメニューの提供を予定。 代表店舗：本郷中央食堂 (東京都文京区本郷7-3-1) ☎03(3812)7336 営業時間11時~21時 ※駒場食堂2階でも提供を予定しています。
合資会社旭屋	11月下旬頃より、インターネットによる通信販売を予定。詳細は下記のホームページをご参照ください。 旭屋ホームページ http://asahiya.com/

※品種はコシヒカリ(精米)です。数に限りがあるため、売切れの場合はご容赦ください。

11月3日、酒田地区で収穫された米の全量全袋検査が行われ、昨年引き続き、安全性が確認されました。作付け再開1年目の昨年の米は、東京大学や関係省庁の試食会で提供され大変好評でした。「売って欲しい」などの声援を受け、今年の米は震災後初めて販売されます。



27年浪江産販売米のイメージ

浪江産の米が震災後初めて販売されます

取扱い店舗は左記のお店です。また、JA米としても出荷されます。

町の農業再生に向けて

圃産業・賠償対策課農林水産係 ☎0243(62)1107

作付けを行った農家の方をはじめ、多くの方々の協力により、米の販売再開が実現し、町の農業復興の大きな一歩を踏み出すことができました。

9月19日、苜宿復興組合の設立総会が行われました。苜宿地区は今後、復興組合関係者を中心に、除染後の農地の保全作業を行いながら、将来の

苜宿地区で復興組合が立ち上がりました



景観作物の種まきを行った酒田農事復興組合の皆さん

酒田農事復興組合は10月25日、浪江高校前の農地で、景観作物として菜種とレンゲの種まきを行いました。来年の春には、菜の花やレンゲソウの花が一面に広がる予定です。同地区では、昨年度より景観作物の作付けが実施されています。景観作物は、景観の向上だけでなく、鋤き込みを行うことにより、除染後の農地の地力を回復させる効果も期待されています。

酒田地区で菜種とレンゲの種まきが行われました

酒田農事復興組合は10月25日、浪江高校前の農地で、景観作物として菜種とレンゲの種まきを行いました。来年の春には、菜の花やレンゲソウの花が一面に広がる予定です。



北幾世橋で収穫されたニンジン

「浪江町営農再開を目指す会」は10月25日、北幾世橋地区でニンジンの収穫を行いました。この会は、平成25年度から北幾世橋地区で野菜の試験栽培を実施し、安全性の試験栽培を行っています。初年度は3品目、平成26年度は8品目、今年度はこれまでに6品目の栽培を行っており、収穫された全ての品目で、放射性物質の一般食品基準値を下回っています。今回収穫されたニンジンも、県の放射性モニタリングにより

「浪江町営農再開を目指す会」が育てたニンジンが収穫されました

営農活動や土地利用について議論を進めていく予定です。現在、このような復興組合は、7地区(9行政区)で設立されており、他の行政区でも、設立に向けた動きが広がっています。◇復興組合設立状況(11月10日時点) 組合が設立した行政区 苜宿、北棚塩、酒田、高瀬、立野(上・中・下)、西台、藤橋



浪江町花卉研究会 検討会議の様子

今年7月に発足した浪江町花卉研究会は、月に一度検討会議を開き、花卉栽培を取り入れた、モデル農家ごとの営農再開計画や、花を生かしたまちづくりの計画の策定を進めています。第4回目となった11月5日の会議では、需要が高く浪江町での栽培に適した花の品種の検討や、景観作物の栽培に関する検討を行いました。

研究会は、検討会議の他、浪江町花卉PRとして成人式における花卉のプレゼントなども計画しています。研究会は、活動に参加していただける町民の方を随時募集しています。

花卉研究会が検討会議を行っています

安全性が確認され、役場二本松事務所を訪れた人に配布されました。ニンジンを食べた町民の方からは、「美味しかった」と喜びの声を頂きました。

避難指示解除に関する有識者検証委員会(第2回)を開催しました

町は、避難指示解除に向けて、除染やインフラ復旧などの進捗を専門家の視点から客観的に検証・評価し、必要な措置について提言をいただくため、「避難指示解除に関する有識者検証委員会」を開催しています。

第2回委員会(11月5日開催)では、除染の現状説明や町民との意見交換、浪江町内の現地確認など、第3回委員会(11月26日開催)では、インフラ復旧の状況について話し合いを行いました。

会議資料等は、町ホームページ内の「避難指示解除に関する有識者検証委員会」に掲載していますので、パソコンやタブレットなどからご覧ください。

【会議・現地視察の風景】



会議の様子



現地視察の様子

【今後の予定】

回数	内容等
第4回 (12月中旬)	検証・評価③ 【生活環境整備】
第5回 (1月下旬)	検証・評価④ 【現地視察】
第6回 (3月上旬)	検証結果とりまとめ

※詳しい日程は決まり次第、町ホームページなどに掲載します。

復興推進課復興企画係 ☎0243(62)4731

ここからは広告です。

エコドライブ、美しい環境とモビリティの楽しさを次世代へ。

双葉ホンダモーターズです。本宮店・須賀川森宿店でお待ちしております。

VEZEL HYBRID HYBRID Z / HYBRID X 特別仕様車 スタイルエディション STYLE EDITION

あらたなる輝きをまとった、特別なヴェゼル。

Honda Cars 福島県央 本宮店
〒969-1165 本宮市本宮字中台21 営業時間 8:30~18:30 毎週火曜定休
TEL0243-24-8188

Honda Cars 福島県央 須賀川森宿店
〒962-0001 須賀川市森宿字日向29-12 営業時間 8:30~18:30 毎週火曜定休
TEL0248-76-3115